

# ほし み 星を見よう!

2023年1月号

No.289

2023年1月7日

しろいしぶんか

白井市文化センター・プラネタリウム

〒270-1422 白井市復1148-8

TEL047-492-1125 Fax047-492-8016

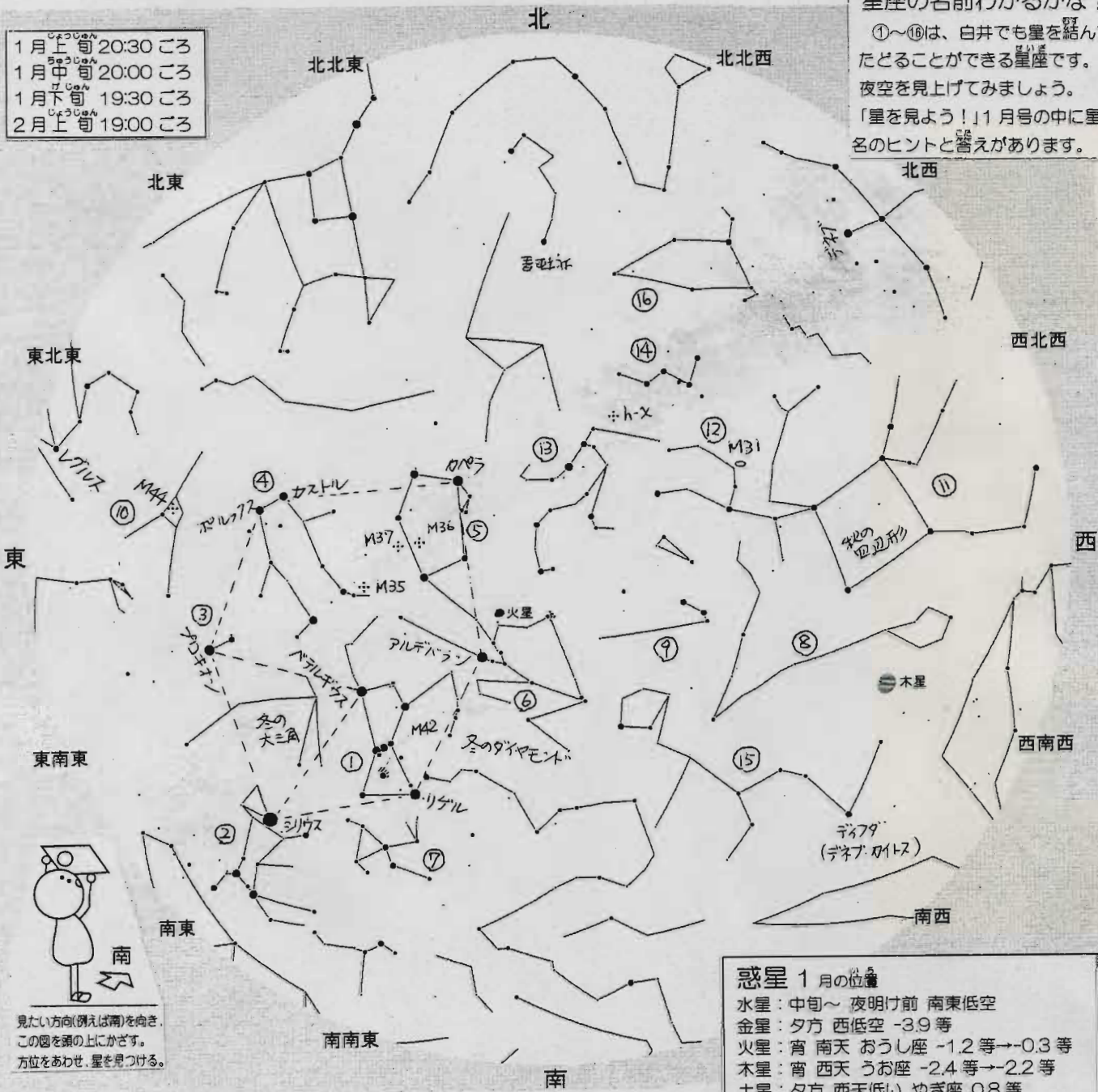
e-mail: planet@center.shiroi.chiba.jp

URL: <https://www.center.shiroi.chiba.jp/planet/>

## 星座の名前わかるかな?

①～⑯は、白井でも星を結んでたどることができる星座です。夜空を見上げてみましょう。「星を見よう!」1月号の中に星座名のヒントと答えがあります。

1月上旬 20:30 ころ  
1月中旬 20:00 ころ  
1月下旬 19:30 ころ  
2月上旬 19:00 ころ



見たい方向(例えば南)を向き、この図を頭の上にかざす。方位をあわせ、星を見つける。

## 惑星 1月の位置

水星：中旬～夜明け前 南東低空  
金星：夕方 西低空 -3.9等  
火星：宵 南天 おうし座 -1.2等→-0.3等  
木星：宵 西天 うお座 -2.4等→-2.2等  
土星：夕方 西天低い やぎ座 0.8等

◆マスク着用とドーム入場前に手指消毒をお願いします

★土曜日・日曜日・祝日(月曜と重なる祝日は休館) 予約不要 投映開始時刻30分前から券売

投映料金：市内大人280円 高校生以下110円/市外大人350円 高校生以下160円

☆ロイヤルアワー 子ども向け 11:30 ロイ君とみんなのうちゅう おたんじょう日の星座

☆アストロアワー 一般向け 15:00 惑星大集合 岩石惑星編 それぞれ投映時間 約45分間

★星を見る会 要予約 対象:小学生以上(小学生は保護者同伴) 小学生未満は受付不可

2月25日(土)18:30 約75分間 申し込み期間:1月20日~25日(必着) 定員30人

ハガキかメール申し込みです。詳細はホームページ等を参照してください。 超えた場合は抽選

ドーム内で解説後、実際の空で星座を探し、望遠鏡で月、星団他を観望

大人200円 高校生以下 無料 雨天(雪)の場合はドーム内で約45分間の星空解説のみ

☆プラネタリウムの休館日 毎週月曜日と年末年始

## 赤星で作る三角形

火星の位置変化によって三角形の形が日々変化します





たんじょうび せいざ ちきゅう たいよう こうてん  
**「誕生日の星座」は地球が太陽を公転**

**しているから誕生した!**

「誕生日の星座\*1」は今から 2000 年以上前に生まれま  
 した。人間にとって、とても大切な太陽。その太陽と重なっ  
 ている星座をお誕生日の星座としたわけですが、<sup>ひるま</sup>昼間は星  
 座の星は見えません。古代人たちは、太陽が昇る夜明け前、  
 東の空の星の並びを見て、今、太陽は〇〇座にあると予想  
 したと伝えられています。

現代の私たちは地球が公転していることを知っています。  
 自分の誕生日、真夜中に真南にくる星座と反対の位置ある  
 星座が誕生日の星座になります(右上図)。ただし、2000  
 年間に地球の歳差運動\*2によって、誕生日の星座の時期は  
 右表の期間とほぼ 1 か月のズレが生じています。

ロイ君アワーでは、白井プラネのキャラクターのロイ君  
 たちが、宇宙に飛び出し、「誕生日の星座」を易しくご案内  
 しています。大人も楽しめます!

月曜以外の  
**ロイ君アワー 土・日・祝 11:30 (約45分間)**  
**ロイ君とみんなのうちゅう おたんじょう日の星座**

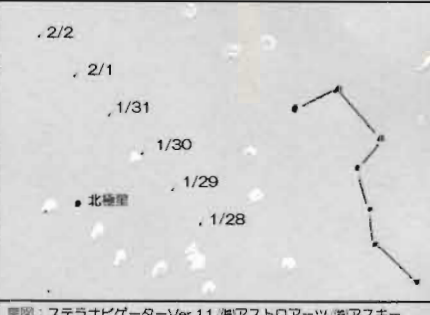
\*1「星座」は 5000 年以上前に世界各地で誕生しています。  
 \*2「歳差運動」 コマが首を振って回るように、地球の自転軸が約 23.4° 傾いた  
 まま、周期約 26,000 年で回転する運動。北を指し示す「北極星」も  
 この運動のため、移り変わる。ピラミッド建設当時(今から約 5000 年  
 前)の北極星は「りゅう座のツバーン」であった。



星座	期間	星座	期間
おひつじ	3月21日~4月19日	てんびん	9月23日~10月23日
おし	4月20日~5月20日	さそり	10月24日~11月22日
ふたご	5月21日~6月21日	いて	11月23日~12月21日
かに	6月22日~7月22日	やぎ	12月22日~1月19日
しし	7月23日~8月22日	みずがめ	1月20日~2月18日
おとめ	8月23日~9月22日	うお	2月19日~3月20日

スリーティーエフすいせい にくがん  
**Z T F 彗星 肉眼で見える?**

ほっきょくせい  
 北極星や北  
 斗七星を自印  
 にボーっと見  
 える彗星を双  
 眼鏡で、探し  
 てみましょう。



じゅうせいれんせいてんたい  
**今月の見どころの重星連星天体**

アルマク(アンドロメダ座  $\gamma$  星)  
 黄色の 2.2 等星と青色の 5.0 等星の二重星。連星系。  
 リゲル(オリオン座  $\beta$  星)

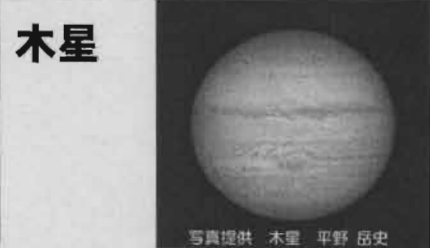
0.1 等青白い星と 7 等の連星  
 カストル(ふたご座  $\alpha$  星) 多重連星系(六重連星系)  
 1.9 等のカストル A と 2.8 等のカストル B。また、それぞれがふたつ  
 の星からなる連星。さらにふたつの連星をまわるカストル C も連星。

むすか  
**望遠鏡でもかなり難しいですが…シリウスとシリウス B**

シリウス A (一般的な呼び名は「シリウス」)を約 50 年の周期でシリウス  
 B がまわってます。シリウス A が恒星で最も明るく(-1.5 等)、シ  
 リウス B は 8.4 等。今、A と B の距離が最も離れている時期にあた  
 っています。

矢印の先  
 にある点  
 がシリウス B

写真・図提供:  
 兵庫県立大学  
 西はりま天文台



イオ エウロパ  
 ガリステイ  
 ガニメデ  
 2023年1月28日18:00の木星の衛星の位置  
 星図：ステラナビゲーターVer.11/編アストロアーツ/編アスキー

しろいメール配信サービスに  
 登録しましょう  
 下の QR コードで登録してください。  
 イベントの前にメールが届きます。  
 ◎コンサート情報  
 ◎イベント講座情報  
 ◎文化センターイベント情報